

2008年9月1日(月) 19:00～

## 人権教育をわたしのために

### 2008年度面影(面影一丁目)小地域懇談会

鳥取市総務部人権推進課 佐藤淳子

#### 1 はじめに

<様々な地域からの声>

- (ア)「人権教育って、同和教育は無くしてしまうの？」
- (イ)「今までの同和教育は部落問題の解決が中心課題で、他の課題はあまり扱わなかったでしょ？」 —①同和問題を扱わないのは不安  
—②同和問題だけが人権課題ではないのに
- (ウ)「これからの地域における研修をどう進めていったらよいかわからない」
- (エ)「なぜ、小地域懇談会などをしなければならないの？(人権に関わる研修)」

#### 2 人権教育の流れ

##### ① 同和教育から得たもの

- (オ) 同和教育は、1950年代から、実践によって生み出されてきた原則や、教訓を踏まえ、40数年にわたり、多くの教育関係者によって取り組みがなされてきた。
- (カ) 被差別部落の子どもたちだけではなく、全ての子どもの教育権確立を求めてきた
- (キ) 社会教育の中でも、同和地区の住民主体の学習活動を通じて差別解消への自覚が育ってきた
- (ク) さらに市町村においても、一人ひとりの生き方を見つめなおし、人間としてのより豊かな生き方をしようとする人の輪が広がってきた
- (ケ) 全ての人々の権利回復とエンパワメント、そして自己実現を図る取り組みが重ねられてきた
- (コ) 学習の方法として(スキル)、地域での聞き取りなどの調査活動、フィールドワーク、交流活動、演劇活動などを生み出してきた

##### ② 人権教育と同和教育

- ・ 1948(昭和23)年 第3回国連総会にて「世界人権宣言」を採択
- ・ 1953(昭和28)年 全国同和教育推進協議会結成
- ・ 1965(昭和40)年 同和対策審議会答申

- ・ 1995 (平成7) 年 第49回国連総会にて「人権教育のための国連10年」

↓

- 2004 (平成16) 年
- ・ 2000 (平成12) 年 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の施行
- ・ 2002 (平成14) 年 人権教育・啓発に関する基本計画の策定  
地対財特法の失効 (30数年間)

- ・ 2004 (平成16) 年 鳥取県人権教育基本方針策定  
「同和教育基本方針」が1995年に一部改正されたものからの変遷

- ・ 2005 (平成17) 年 人権教育のための世界プログラム

↓

- 2007 (平成19) 年
- ・ 2006 (平成18) 年 鳥取市人権教育基本方針策定  
第8次鳥取市総合計画「地域社会の一員として自覚と誇りを持ち自己実現に向け、たくましく自立して豊かに生きる人づくり」として鳥取市人権教育推進のために策定
- ・ 2007 (平成19) 年 第4次鳥取市同和対策総合計画策定 (H. 19-22)  
鳥取市人権施策基本方針

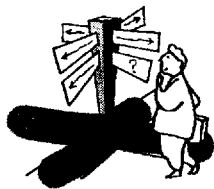
### 3 私たちが描く「同和問題」「障害者問題」など様々な人権課題とは

(サ) わたしと「同和問題」との出会い

(シ) わたしと「障害者問題」との出会い など

### 4 私たちの研修会の目的とは

- ① 人権教育推進の概要・・・個別の課題から普遍的な課題へ (「氷山の一角」)
- ② 人権教育の目的・・・「命の大切さ」「自分を育てる」「共に生きる」⇒まちづくり  
命の大切さ・・・自尊感情 (セルフエスティーム)  
自分を育てる・・・自己表現、自己実現、自己選択 (エンパワメント)  
共に生きる・・・自他を認める、コミュニケーション能力の向上
- ③ 観念的理解から「自己からスタート」の研修へ・・・(私のこだわり袋)



## 「私のこだわり袋」に

何を入りたい？

あなたにインタビュー「私がこだわるもの、私が気になるもの」

- ① 結婚式やお祝い事、やっぱり大安吉日がいい
- ② 保護者役員名簿には、当然世帯主の名前を書くよねえ
- ③ こどもの結婚。やっぱり知りたい、どこの人？なにをしている人？
- ④ やっぱり男は一家の主、定職について家族を養うものだよ
- ⑤ 女性がお客様にお茶を出すのは当然のこと。気が利かないって思われ  
ないように
- ⑥ 少子化のこのご時世、女性なら子どもを産むのは当たり前
- ⑦ 力仕事はとうぜん男性でしょう。女性はか弱いですから・・・
- ⑧ 車椅子の人がいたら、手伝わなくちゃ・・・ねえ

### 私のこだわり袋

